

### 新屋の桜保全へ

#### 地域住民ら植樹

#### 「オノ環境財団共催

秋田市で桜の名所の一つ

として親しまれている新屋地区

の桜の保全に向け、同市新屋

の川端帯状近隣公園で植樹

会が18日開かれ、地域住民ら

約140人が公園周辺に桜の

苗木を植えた。新屋振興会(赤

沼尻会長)と「オノ環境財団

の共催。

「オングル」は地域貢献

活動として、1991年から

4〜5はばの幼木30本を、

全国で植樹活動を実施。こ

の日は穂積志吉長のほか、

オノ(千葉市)の大門淳顧問

(新屋出身)や「オノタウ

(千葉市)の加藤久誠社長、

イオノ東北(秋田市土崎港

北)の辻雅信社長も出席し、

新屋に誇りと愛着を持ち、

より良くなるための行動が非

常に大事だ。今回の機会に感

謝する」と述べた。

参加した目新6年の工藤

颯人君(12)は「この道は通学

路なので思い出場所。この

先、自分が植えた桜の木は花

が咲くのが楽しみだ」と話し

た。

地区では1950年代から桜

の植樹が行われてきたが、近

年は樹勢が衰えてきた木もあ

るといふ。今回植樹した桜は、

シシタウボノの幼木を

植樹する(左から)大門

顧問

見込めといふ。

問、穂積市長、赤沼会長

(神倉紗耶加)



シシタウボノの幼木を植樹する(左から)大門顧問見込めといふ。問、穂積市長、赤沼会長(神倉紗耶加)